この本の効果的な使い方

『予習シリーズ　漢字とことば』は、『予習シリーズ　国語』を学習する生徒を対象とした、〈漢字の学習〉と〈ことばの知識〉に関する副教材です。各回一週間単位の学習を基本とする『予習シリーズ・国語』に合わせ、『漢字とことば』も各回一週間で十字の漢字と〈ことばの知識〉一単元を学習するように作られています。そして、原則五回に一回の「総合」の回では、それまでの四回分を復習するように構成されています。

効果的な学習方法についてのアドバイス

1　漢字の学習

漢字は、単なる記号ではありません。一字一字に成り立ちの歴史があり、一字一字に〈意味〉があります。その成り立ちを知り、〈意味〉を知ることによって、記憶がいっそう確かなものになります。まず、〈意味〉と結びつけて覚えることが大切です。

学習する漢字が大きな教科書体活字で示されています。その下に音読み・訓読み・部首・部首をのぞいた画数・総画数が示され、さらに、なりたち・筆順・用例・練習問題、と続きます。

筆順を確かめながら、まず一字一字を書くことから練習が始まります。見出し活字に示されたトメル・ハネル・ハラウなどについての注意にも気をつけて、一画、一画、正しく、ていねいに練習しましょう。

「練習問題」は、「用例」の中から基本的なものをとりあげました。〈漢字の学習〉専用のノートに、くりかえし練習しましょう。十字の学習を終えたら「確認問題」でチェックし、×だったものについては反復練習によって定着を図ります。

2　ことばの知識

その回の学習内容についての解説と一覧表をまず通読します。それから練習問題にとりくみましょう。今、自分が持っている知識で答えられる問題と答えられない問題をはっきりさせることが大事です。答えられない＝知らないことについては、解説・一覧表で確認することで、〈ことばの知識〉を補強しましょう。

〈語彙力〉は、国語の学力の土台です。

※漢字の「なりたち」の図や説明、また象形・会意・形声・指事などの六書は、辞典によって異なるものがあります。本書は『例解学習漢字辞典　第九版』（小学館）、『角川新字源　改訂版』（KADOKAWA）などを参考にしています。

第14回

吸 供 胸 郷 勤 筋 系 敬 警 劇

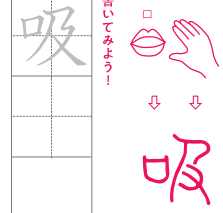
吸

【音】キュウ
【訓】す―う

部首・口 くちへん・3画 総画・6画

なりたち・形声・及（届く）と口とを合わせた字。水や空気が自分まで届くように、口ですいつくこと を表す。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！

用例

①すう。すいこむ。
・吸引（すい取ること。すいつけること。）
・吸収（すいこむこと。技能などを身につけること。）
・呼吸（動物が息をすったりはいたりすること。）
・吸入（空気などをすい入れること。）
・吸血鬼（人の血をすって生きる魔物。）
・吸い口（たばこなどをすうときに口に当てる部分。）
・吸い飲み（病人に水を飲ませるための、長い口がついたきゅうす型の容器。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 知識をキュウシュウする。 2 キュウインカの強いポンプ。
3 酸素をキュウニュウする。 4 朝のすがすがしい空気をすう。

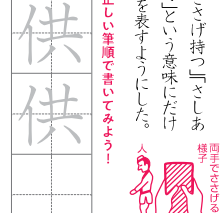
供

【音】キョウ・（ク）
【訓】そな―える・とも

部首・イ にんべん・6画 総画・8画

なりたち・形声・共には、もとは「両手をそろえてささげ持つ」「さしあげる」という意味もあったが、のちに「ともにそろって」という意味にだけ使うようになったので、イ（人）をつけて、もとの意味を表すようにした。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！

用例

①そなえる。神や仏にそなえる。
②さし出す。役に立てる。あたえる。
・供給（必要なものをあたえる。品物を市場に出す。）
・提供（あたえたり教えたりすること。）
③理由や事情を述べる。
・供述（警察官・裁判官の質問に答え、事情を話す。）
④おとも。そばにつきしたがう。
⑤とも。複数を表す言葉。
・子供（こども。もとは複数の子たちを指した言葉。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 墓前に花をそなえる。 2 電力をキョウキュウする。
3 資料をテイキョウする。 4 王様のおともをする。

胸

【音】キョウ
【訓】むね・（むな）

部首・月 にくづき・6画 総画・10画

なりたち・形声・凶（穴にはまりこむ）と勹（つつむおおい）と月（肉）とを合わせた字。ろっ骨でつつまれた体の中にある大きなあな、つまり、むねのこと。

筆順

正しい筆順で書いてみよう！

用例

①むね。体の正面の首と腹の間の部分。
・胸囲（乳のあたりで測ったむねのまわりの長さ。）
・胸像（人のむねから上の姿をかたどった像。）
・度胸（どんなときもあわてず落ち着いて行動する力。）
・胸を張る（得意になっている様子。）
・胸を打つ（強く感動する。）
②むねのうち。心の中。
・胸中（心の中。心の中で思っていること。）
・胸におさめる（心にしまって人に言わない。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 巻き尺でキョウイを測る。 2 姉はドキョウがある。
3 むねを張って堂々と行進する。 4 母のキョウチュウを察する。

郷

【音】キョウ・（ゴウ）
【訓】―

部首・阝 おおざと・8画 総画・11画

なりたち・会意・むかしの字は𨛭で、まん中にごちそうをおき、その両がわに人がひざまずいて向かい合っている様子を表していた。のちに、人のかわりに阝（むら）をつけて、向かいあった村を表すようにした。

筆順

正しい筆順で書いてみよう！

用例

①村里。地方。
・在郷（都会からはなれた場所。ふるさとにいること。）
②ふるさと。いなか。生まれ育った場所。
・郷土（生まれ育った土地。ふるさと。または地方。）・郷里（生まれ育った土地。ふるさと。）
・故郷（生まれ育った土地。ふるさと。）・望郷（ふるさとをなつかしく思うこと。）
③ところ。場所。
・理想郷（地上にはない望み通りの夢のような世界。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 キョウド料理をふるまう。 2 年末にコキョウに帰る。
3 ボウキョウの念をいだく。 4 リソウキョウを実現する。

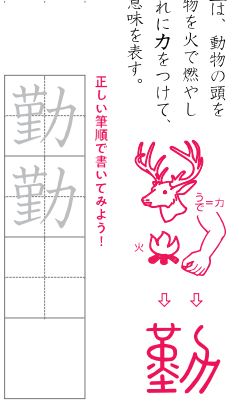
勤

【音】キン・（ゴン）
【訓】つとーめる・つとーまる

部首・力 ちから・10画 総画・12画

なりたち・形声・むかしの字は**勤**。**堇**は、動物の頭を火で燃やす様子をえがいた字。動物を火で燃やして、かわかして粉々にすること。それに**力**をつけて、「体力がつきるほどこまめに働く」意味を表す。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！

用例

①力をつくして働く。精を出す。つとめる。仕事。
・勤続（同じ所につとめ続けること。）・勤勉（仕事や勉強などにはげむこと。）
・勤務（自分の仕事としてつとめること。）・通勤（つとめ先に通うこと。）
・夜勤（夜、つとめに行くこと。または、そのつとめ。）
・勤め先（つとめている所。）
②仏につかえる。
・勤行（仏前で経を読んだり、焼香したりすること。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 交番にキンムする警察官。 2 キンベンな態度を見習う。
3 ツウキンに一時間かかる。 4 父は銀行につとめている。

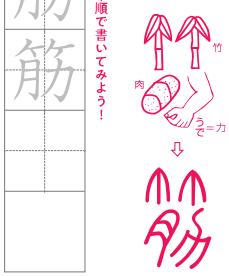
筋

【音】キン
【訓】すじ

部首・竹 たけかんむり・6画 総画・12画

なりたち・会意・**肋**は**月**（肉）と**力**とを合わせた字で、すじばって見えるろっ骨のこと。それに**竹**をつけて、タケの小えだのように細くて、りきむとすじばって見えるきん肉を表す。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！

用例

①体のすじ。骨について体を伸び縮みさせる肉。
・筋肉（体の運動に必要な収縮作用をもった器官。）・腹筋（腹部の筋肉。）
②細長い線。物の中に入れて支える、すじのようなもの。
・鉄筋（コンクリートを強くするために入れる鉄の棒。）
③一続きになっている関係。
・筋道（物事の道理。物事の正しい順序。）・血筋（親・子・孫といった血のつながり。）
・筋書き（小説や劇のおおまかな内容を書いたもの。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 運動してキンニクをきたえる。 2 すじみちを立てて話す。
3 テッキン建築の家に住む。 4 母方のちすじをたどる。

系

【音】ケイ
【訓】――

部首・糸 いと・1画 総画・7画

なりたち・象形・糸が、物につながれて、たれさがっている様子をえがいた字。「つながる」という意味を表す。

筆順

正しい筆順で書いてみよう！

用例

①つながり。すじ道。
・系統（順序よくたどることのできるつながり。）・系列会社（資本や人で結びついている会社。）
②血のつながり。
・系図（先祖から続いている代々の血すじを示した図。）
・家系（先祖から続く代々の家族の歴史的なつながり。）
・直系（血すじや師弟関係が直接につながる系統。）
③つながりを持った仲間。
・太陽系（太陽を中心とした天体の集まり。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 英語と同じケイトウの言語。 2 わが家のケイズを調べる。
3 もともとは武士のカケイだ。 4 タイヨウケイに属する惑星。

敬

【音】ケイ
【訓】うやまーう

部首・攵 ぼくづくり・8画 総画・12画

なりたち・形声・**苟**は**亠**（ヒツジのつの）と**口**（人）と**口**とでできた字。はっと驚いて、体をひきしめる様子を表す。それに**攵**（動作を表すしるし）がついて、はっとかしこまって体をきんちょうさせることを表す。

筆順

正しい筆順で書いてみよう！

用例

①うやまう。相手をたっとぶ。
・尊敬（たっとびうやまうこと。）
・敬愛（尊敬し、親しみの気持ちを持つこと。）・敬意（尊敬する気持ち。）
・敬遠（うやまっているふりをしてわざとさけること。）
・敬語（相手をうやまった言葉づかい。）・敬具（手紙の終わりに書く言葉。）
・敬礼（うやまって、きちんとおじぎをすること。）
・敬老（老人をうやまい、大切にすること。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 神仏を深くうやまう。 2 年上の人にケイイを表す。
3 ケイアイする友人。 4 ケイゴを使って話す。

吸 供 胸 郷 勤 筋 系 敬 警 劇

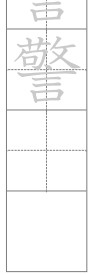
警

【音】ケイ
【訓】―

部首・言 ごんべん・12画 総画・19画

なりたち・形声・敬（はっと身をひきしめる）と言（言葉）を合わせた字。言葉で注意してはっと用心させること。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！

用例

①注意して用心させる。いましめる。
・警告（人に前もって注意すること。）
・警笛（危険を知らせるために鳴らす笛やラッパ。）
・警報（危険が起きそうな時に用心をうながす知らせ。）
②守る。備える。
・警護（人や建物を用心して守ること。）・警備（周囲によく注意して用心し守ること。）
③警察・警察官。
・警官（警察官・おまわりさんのこと。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 汽車がケイテキを鳴らす。 2 洪水ケイホウが発令される。
3 ケイカンに道をたずねる。 4 大統領をケイゴする兵士。

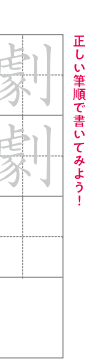
劇

【音】ゲキ
【訓】―

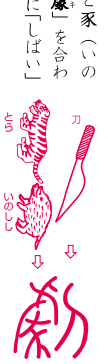
部首・刂 りっとう・13画 総画・15画

なりたち・形声・刂（刀）に虎（とら）と豕（いのしし）を合わせ、激しく戦う意味の「豦」を合わせた字。「激しい」という意味を表す。後に「しばい」の意味も表すようになった。

筆順



正しい筆順で書いてみよう！



用例

①はげしい。きびしい。ひどい。
・劇薬（作用が強く、使い方を誤ると生命にかかわる薬。）
・劇痛（激しいいたみ。激痛。）・劇変（急に変わること。ひどく変わること。激変。）
②しばい。げき。
・劇場（演劇や映画などを見せるための部屋や建物。）
・劇的（劇の一場面のように人の心を強く動かす様子。）
・演劇（脚本をもとに俳優が舞台で見せる劇。しばい。）
・悲劇（悲しい結末で終わる劇。悲しいできごと。）

練習問題

○次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 突然のヒゲキが村をおそう。 2 中学校のエンゲキ部に入る。
3 ゲキヤクを注意深くあつかう。 4 ゲキテキな逆転ホームラン。

確認問題

◉練習問題に取り組んでから、確認問題を解きましょう。

□1 夕方のキンムを終えて家路に着く。
□2 シェイクスピアのヒゲキを読む。
□3 ケイトウの似た服ばかり買ってしまう。
□4 キョウド資料館で地域の歴史について調べる。
□5 綿織物は水分をよくキュウシュウする。
□6 キンニクを鍛えるトレーニングを毎日やる。
□7 演劇で着る衣装をつくるため、手足の長さやキョウイをはかる。
□8 公正な王をうやまう民が集う。
□9 するどいケイテキの音が響き渡る。
□10 仏壇にお線香をそなえる。

□11 彼女はすじみちだった考え方のできる人だ。
□12 需要とキョウキュウの関係によってものの価格が決まる。
□13 ドキョウ試しとしてつり橋を渡る。
□14 年上の人にケイイをはらう。
□15 キンベンな生徒は教師から好かれやすい。
□16 キュウインカの強い掃除機。
□17 平安貴族のケイズは複雑だ。
□18 コキョウの土を踏むことなく亡くなった兵士。
□19 学習発表会で自作のエンゲキをする。
□20 ケイカンが自転車に乗ってパトロールをする。

第14回

確認問題

□21 ライオンが王様のケイゴをする。

□22 会社まで自転車でツウキンする。

□23 塩酸はゲキヤクだ。

□24 母方のカケイには芸術の分野で仕事をしている人が多い。

□25 普段使っていない別荘を、地域住民交流の場としてテイキョウする。

□26 テッキンコンクリートでできた建物。

□27 ボウキョウの念にかられて短歌を詠む。

□28 ケイアイする作家の本を読む。

□29 酸素キュウニュウのためのマスクが足りなくなる。

□30 母親がむねに赤ん坊を抱く。

□31 中学生選手のゲキテキな勝利で幕を閉じたオリンピック。

□32 タイヨウケイの惑星のならび順を覚える。

□33 母の同僚の前でケイゴを使えず、恥ずかしい思いをした。

□34 まるでリソウキョウのような美しい場所だ。

□35 ちすじのよい馬。

□36 兄は自動車会社につとめるサラリーマンだ。

□37 桃太郎のおともをするのは、イヌ、サル、キジだ。

□38 遺族のキョウチュウを思うと言葉が出ない。

□39 空襲ケイホウが発令された。

□40 タバコをすう人の数は、かつてに比べて大きく減った。

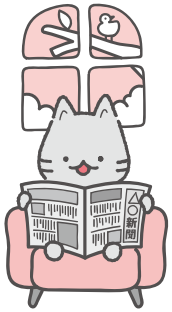
対義語①

主観 自分ひとりのものの見方・感じ方のこと。

文章でいうと、「私は……と思う」というのは主観的な文章です。エッセイ（随筆文）やコラムなどはこれにあたります。

客観 特定の立場にとらわれず、物事を見たり考えたりするさま。当事者ではなく第三者の観点。だれもがそうだと納得できるようなこと。

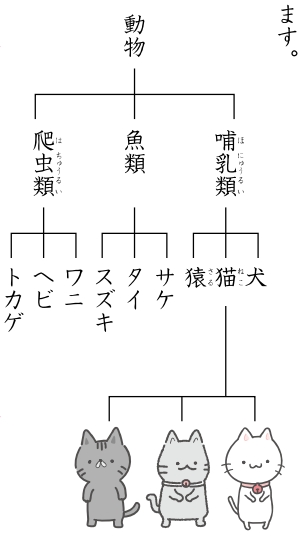
新聞記事や報告書などは客観的な文章といえます。だれもが認める理由や原因、事実やデータ、分析などを含めた裏付けによって構成されています。



具体 形や内容がはっきり分かること。

抽象 二つ以上のものに共通する性質をぬき出すこと。

左の図を見てください。上に行くほどより抽象化されており、下に行くほどより具体化されています。「猫」と「猫」を比べると「猫」のほうが「具体的」であると言えますが、哺乳類と猫を比べると、猫のほうが「具体的」であると言えます。具体と抽象という考え方は相対的（次頁で学習）なものであることに注意する必要があります。



絶対 他に比較するものや対立するものがないこと。

相対 他との関係の上に存在あるいは成立していること。

親子関係を例にとって説明します。

生まれたばかりで自分では何もできない赤ちゃんは、親

子関係以外の関わりがほとんどないうえ、生きていくには親に頼るしかありません。赤ちゃんにとって親は絶対的な存在といえます。

しかし、成長していくにつれて、色々な人と出会い、他の人と比べること（相対的な見方）ができるようになったり、自分でできることが増えてきたりすることで、親が絶対的な存在ではなくなります。

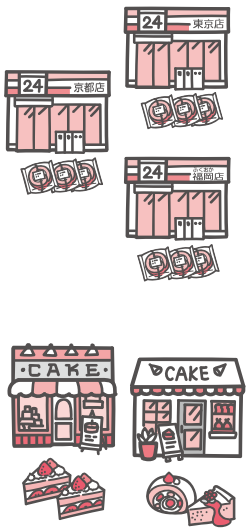
みなさんの身近なところにも「絶対」と「相対」の考え方はあります。テストを例にとって説明します。

みなさんはテストを受けて偏差値が出された経験がありますね。これは「相対的」な見方です。自分が80点であっても、他の人の多くが100点を取っていれば、偏差値は低くなります。一方50点であったとしても、他の人の出来が自分より悪ければ、偏差値は高くでます。このことを相対評価といいます。

一方、検定テストなどは異なります。ある一定の合格基準が事前に定められていて、その点数をとれば他の人が何点であるかに関わらず合格がもらえます。このことを絶対評価といいます。

画一　個々の事情や個性、性質を考慮せず、全体を一様にそろえること。

多様　いろいろと種類の違ったものがあること。



コンビニエンスストアは、どこに行っても、同じ店構えで、同じものを売っています。これを「画一的」と言います。

一方で、個人商店にはそれぞれの特色があります。これを「多様性」があると言います。

●その他の覚えておきたい対義語①

対義語	意味「用例」
目的 ⇔ 手段	実現しようとしてめざす事柄。行動のねらい。めあて。ある事を実現させるためにとる方法。てだて。
質問 ⇔ 回答（応答）	わからないところや疑わしい点について問いただすこと。また、その内容。質問・要求などに答えること。また、その答え。

素人 ⇔ 玄人	その事に経験が浅く、未熟な人。その道で必要な技能や知識をもっていない人。また、その事を職業・専門としていない人。アマチュア。アマ。 技芸などに熟達した人。ある一つの事を職業 専門としている人。専門家。プロフェッショナル。プロ。
過剰 ⇔ 不足	必要な程度や数量を越えて多いこと。ありあまること。足りないこと。十分でないこと。また、その箇所や、そのさま。
本音 ⇔ 建前	本心からいう言葉。 原則として立てている方針。表向きの考え。
容易 ⇔ 困難	たやすいこと。やさしいこと。 物事をするのが非常にむずかしいこと。
権利 ⇔ 義務	ある物事を自分の意志によって自由に行ったり、他人に要求したりすることのできる資格・能力。 人がそれぞれの立場に応じて当然しなければならない務め。
公 ⇔ 私	個人の立場を離れて全体にかかわること。社会。公共。世間。 自分一人に関係のあること。個人的なこと。
真 ⇔ 偽	うそや偽りでないこと。にせものでないこと。本当。真実。ほんもの。 いつわり。

対義語①

練習問題

問一　次の熟語の対義語を後のア～ケから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 目的　(2) 素人　(3) 本音　(4) 困難　(5) 公
(6) 真　(7) 権利　(8) 過剰　(9) 質問

ア 建前　イ 義務　ウ 不足　エ 手段　オ 回答
カ 容易　キ 玄人　ク 偽　ケ 私

問二　(1)～(4)の熟語の意味を後のア～カから選び、記号で答えなさい。また、それらの熟語の対義語を漢字で答えなさい。

(1) 主観　(2) 抽象　(3) 絶対　(4) 画一

ア 他に比較するものや対立するものがないこと。
イ 形や内容がはっきり分かること。
ウ 自分ひとりのものの見方・感じ方のこと。
エ 個々の事情や個性、性質を考慮せず、全体を一様にそろえること。
オ 当事者ではなく第三者の観点。
カ 二つ以上のものに共通する性質をぬき出すこと。